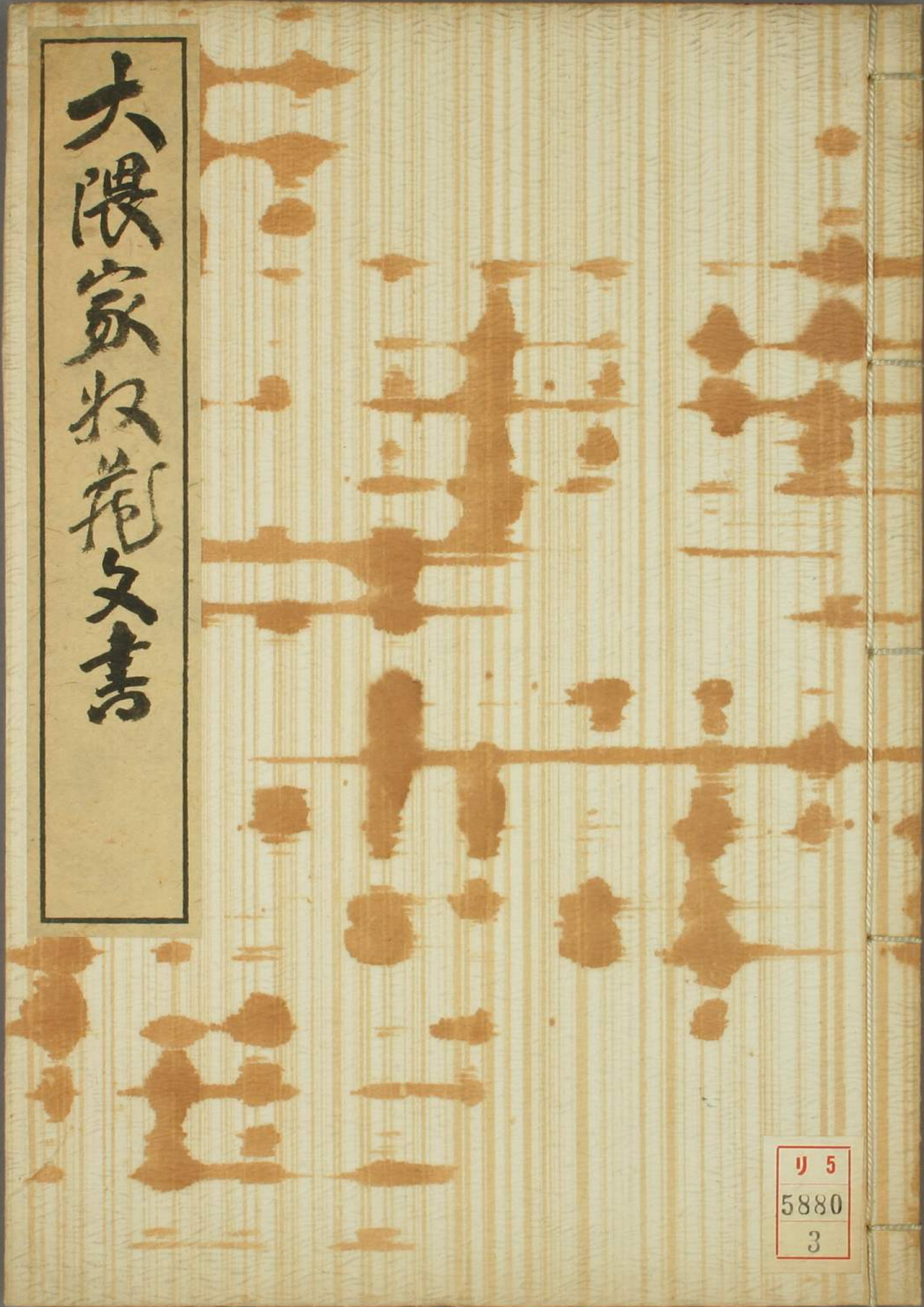




大隈家収菴文書



U 5
5880
3



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(大隈重信侯傳編纂會)

昭和十五年五月三日
市島謙吉氏贈

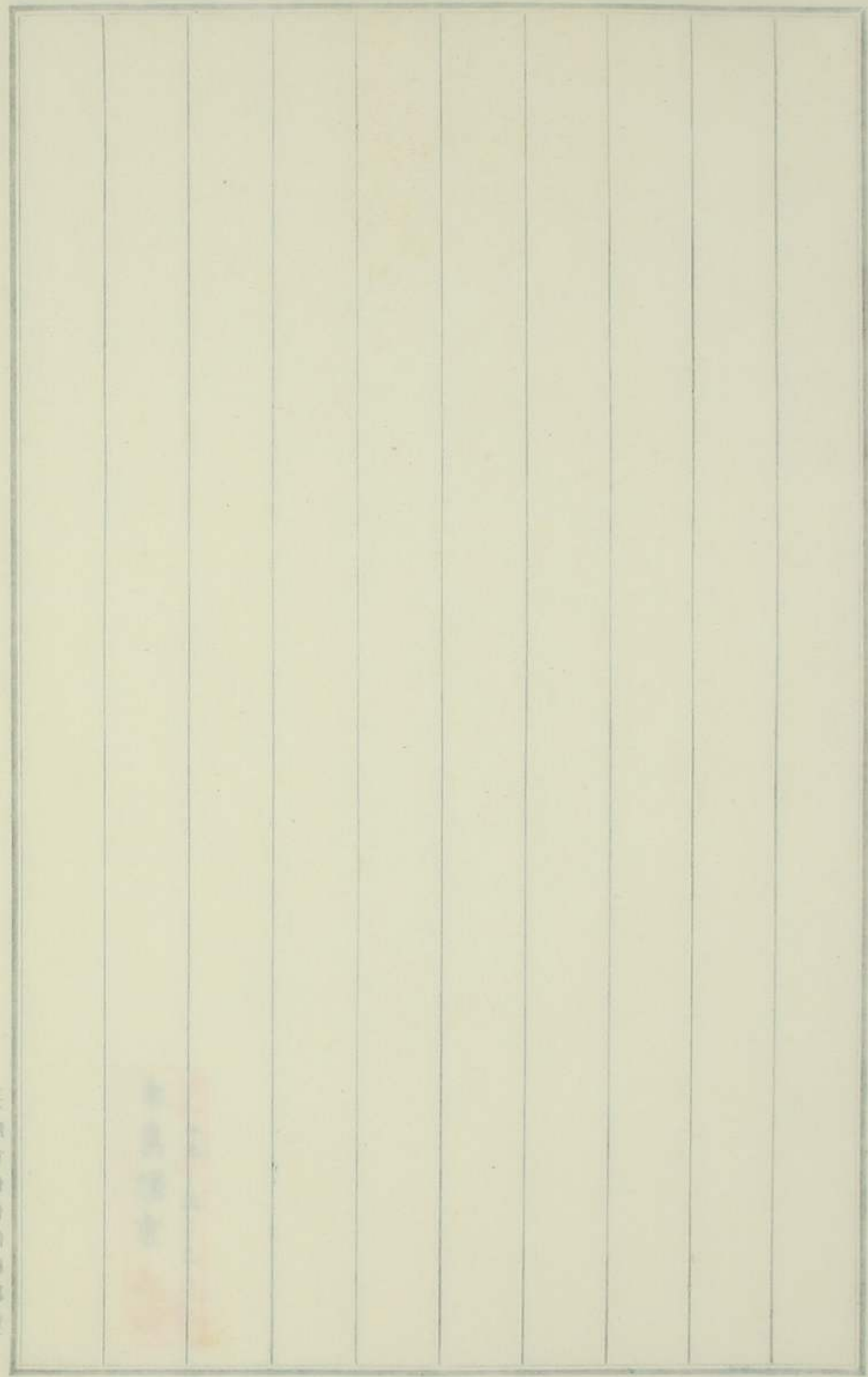
2880



保利通公書東

十五通

[Faint vertical text in the background]



(大塚重信詩詞集)

門 5
號 5880
卷 3

十一日

大久保除目三物

(大隈重信侯傳編纂會)

お取手はあ、原と申は、その務は、
係高智、おと、換標密、依、以、
之、之、之、之、之、之、之、之、
西南と、換標、依、必、有、為、
ハ、其、其、其、其、其、其、其、其、
官林代、價、下、之、海、之、見、
其、其、其、其、其、其、其、其、
上、之、之、之、之、之、之、之、之、

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters, including some kanji and hiragana. It appears to be a formal or semi-formal communication.

(大隈重信侯傳編纂會)

は費用を思ふ事、衆目し所視と得、後令内約
東有之、而之より延ス、二十子、辞柄し有之
可、与物、誤、留、おひて、後令、在、被、了、事、何、子、成
し得、る、事、式、海、路、辯、ナ、ラ、岩、嶺、ナ、リ、唯、思、成、ル
而已、し、得、共、是、此、は、意、に、改、至、事、中、而、其、情、分
中、尤、少、し、う、と、事、ナ、リ、海、子、其、程、来、し、事、多、く、真
納、金、も、立、去、社、に、預、け、之、趣、故、山、池、河、其、集、院、に、密
々、中、通、了、金、に、有、之、了、事、台、用、の、事、此、に、如、は、し、は、事、

お貞

利通

四月一日

大隈重信侯御

(大隈重信侯御書)

昨夕に少中司法者依り来、此に
 伴也古藏長中主切迄仍大旨
 法口に法候者之、必云、此
 病今の道七、通詞七、能
 此如、實候在院、今形、
 一副、と、長、多、
 法者、
 良策、
 年、

(大隈重信侯御書)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The text is written vertically in Japanese characters.

常一と云ふ事あるにあらざり古々の鋪と意考以てし
此有平之期運の方より信守山田の如きは俚
に軍の如く稿ありさる様形も如き、即ち百
般に人心者自赴を殊えん、此等より亦に如きも收
挽に一方界に儀致し、此れを以て分ちて之を
亦云司法者と為不置と申す、得に強んて
其等之、得共前案通一則同者し為を極、其
思ふに極は、尚ほ其考より則ち下分し其法を此
果法を利、探は其方亦依形中より、遷引機會
を考ふに、其法の中より、其法を以て

Handwritten text in a vertical column, likely a letter or document, written in a cursive style.

与以親平也

昨六日此、は長生の坊主、叔父の御出

懸しの刻、七時比、与中上、是知、少一、以迄、刻、是、

善い事務、局、也、出、成、来、人、是、少、少、新、合、有、也、

大隈探

左、少、尔、居、呼、官、与、大、久、保、言、也、

中、昔、下、父、親、探、通、路、事、未、免、得、多、白、白、通、有、

是、以、向、人、談、上、則、何、何、出、也、与、一、平、

上、向、左、探、通、路、事、未、免、得、多、白、白、通、有、

大隈探

利通

信探

Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

叩机去第上以長望以訪中 扱今新以出
思之時刻七時比与中上其知也 以延刻多
實去空天托出也成其人尋之 句新合者也
、而、不、也、猶、在、也、不、示、臣、呼、寫、与、中、合、
中書下必用人出遺此事未免得 中乃自述何
多之羽亦日人談之上則 何時以出之也
上、向、左、操、出、待、の、上、
亨一抄
利通
重信抄

Handwritten text in vertical columns, likely a letter or document. The text is in Chinese characters and appears to be a formal communication.

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯
 不及事
 大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信侯傳編纂會)

明公上邸公園地開園之日來車一日兩天
 頃刻之儀申進至、交連日、兩天、而明次
 惡敷、有明公、儀、不、拘、等、引、致、也
 若、明公、晴、天、之、日、明、後、九、日、開、園、明、公、兩
 天、之、日、之、日、限、之、儀、二、日、可、申、進、此、同、左、探
 所、承、知、者、之、日、以、殿、申、進、也

九年五月七日

大久保内務卿

大隈大元卿殿

追、即、受、其、事、切、年、之、儀、日、限、相、違、之、也、於

[Faint, illegible handwriting on a lined page]

元百五十番の田は市宅方より得られ其上は
是は其國に在りし形なり陳能て其心得を并
大書記官の談を説き失はし人民救むるに
あはれに之を伺ひし然るに其補て其大書記官
等及會議大評士の目的を立其方法を以て
實際に就きて其究むるに其事なるに到底其法に
隔し不中子細に説くべし其教も未だ其法に
以上八代川尻等も其説失し其種國事なるは且
上中下より等級を分りて其内其地は其法に
其像雜に付するに其法は其法に其法に其法に

此等実情は其の如き如き... (Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side)

(大隈重信侯傳編纂會)

凡百五千兩の田を以て其の半を以て其の上は決り上
り中半は其の半を以て其の半を以て其の半を以て
不中半は其の半を以て其の半を以て其の半を以て
七十兩を以て其の半を以て其の半を以て其の半を以て
見り以て其の半を以て其の半を以て其の半を以て
即ち其の半を以て其の半を以て其の半を以て其の半を以て
其の半を以て其の半を以て其の半を以て其の半を以て
致希也... (Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters, including kanji and hiragana. It appears to be a formal or semi-formal communication.

(大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters, including kanji and hiragana. It appears to be a formal or semi-formal communication.

月十日

利通

大隈大宛に敬

時辰十時

Faint vertical text on the right page, possibly bleed-through from the reverse side. The characters are difficult to decipher but appear to be arranged in vertical columns.

若多事是日為... (Main vertical text on the left page, written in a cursive style.)

如... (Small vertical text on the left margin.)

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on a grid background. The text is oriented vertically and appears to be a formal or official communication.

天福軍前將軍

天福軍前將軍侯傳編纂會

問以孰能... 漸新商局長
之... 致... 擊... 托相
成... 幸... 內... 副...
音... 出... 年... 也...
節... 都... 是... 人... 來... 亦...
台... 報... 務... 官... 中... 至... 中... 仍... 於... 彼... 地...
大... 去... 店... 尋... 之... 何... 其... 上... 與... 其... 年... 之... 至... 至... 十... 有...
之... 越... 之... 就... 而... 南... 月... 有... 故... 之... 郵... 便... 之... 至... 西... 探...
何... 色... 之... 決... 着... 指... 令... 之... 致... 之... 而... 凡... 而... 對... 機... 後...
之... 夕... 都... 台... 之... 也... 付... 其... 內... 實... 之... 也... 而... 至... 之... 川... 漸... 進... 退...

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a letter or document. The text is written in a cursive style.

(大隈重信侯爵書)

八月十日

利通

(大隈重信侯爵編纂會)

Large block of handwritten Japanese text in vertical columns, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style.

同はのり

吾は其の因を以て其の果を以て相するに於て其の方に入来りて
 大坂迄東来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 成我亦其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 採偏に希聖に於て其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 取立其様を以て其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 寫す大禱に其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて
 以上を果して其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて其の今一層来りて

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

三月廿四日市書内務省手廻ル四月廿五日書
同公用振出仕園田寅則 手廻ル入手一見當人
向七現場形打傳承追々人心七所合々の二るに前
昔より却り般亦案之務ヒトノ事ニ有案心込ま
何
聖上登極高安寧御下七至る平穩ほ委慮の
修々不承妻由加勸飲然、然ハ市越
件ハ夫ノ可及由善ノ不既、(馬)去リ、件ハ不才一
外及事ニ合々

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

右同遠之市函中

一若打權令高知行云云江蘇捕得之六如

或云何之云云所今此評議中決一決之

此若村之死也投身表干職之云則如命

表設

一聞食若人辭

一新聞雜誌中賊徒之興之云不都令之以

一評議中

一朝解行一之台灣一併皆之及途之上

一

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

大隈

一、... 二、... 三、... 四、... 五、... 六、... 七、... 八、... 九、... 十、...

一 予途に子云云宸躬等之乎勿諱其大也
 不可言先更之一新之心持之保免角根奉之
 和十之堅固之安立不中川而川不叶其類之
 以歸東之可湯切之不可當日其有後以歸
 府之旨謝之令安也

(天候重信侯傳編纂會)

一 白川縣令之乎何之乎不可歸東之上其語之可
 中下
 在條之其語幸以之其有之乎正以右其有之乎
 當也之其有之其有之其有之其有之其有之

四月十日

具視

四日

紅十字

OK 前

1. 紅十字會之宗旨
 2. 紅十字會之歷史
 3. 紅十字會之組織
 4. 紅十字會之工作
 5. 紅十字會之榮譽
 6. 紅十字會之義務
 7. 紅十字會之權利
 8. 紅十字會之地位
 9. 紅十字會之關係
 10. 紅十字會之未來

(大隈重信傳編纂會)

大久保利通夫人

大久保利通夫人
 夫人之生平事蹟
 夫人之教育
 夫人之慈善事業
 夫人之社會地位
 夫人之精神世界
 夫人之藝術愛好
 夫人之家庭關係
 夫人之社會貢獻
 夫人之歷史地位
 夫人之未來展望

(大隈重信傳編纂會)

聖訓
 古語海方持阿、百百屬島備法天
 友院、志也海、得、其、初、也
 其、十、口、議、者、去、夜、外、且、又、利、通、也
 總、接、續、日、的、今、年、五、十、日、回、上、定、五、年、
 主、信、君、國、下、十、年、百、里、云、之、取
 被、行、之、直、接、同、樣、必、定、之、洪、益、不、可、言、之、
 皆、位、也、而、也、之、受、也、之、上、也、之、考、慮、者、之
 至、備、之、希、望、也、之、以、股、中、力、也、之、也

大隈重信侯傳編纂會
 (大隈重信侯傳編纂會)

乃以下議中乃至 鐵道修養總之氣
 自滋學館官上申別紙入此一覽、去并
 友山實不台 歸京必現場、能中中出、子、何、
 米、之、之、議、者、之、及、介、且、又、自、今、銀、路、
 線、接、續、の、目、的、一、今、年、五、十、万、四、十、定、才、五、年、の、
 了、日、年、定、程、五、十、里、十、年、三、百、里、云、々、と、歌、
 被、行、了、直、接、同、様、本、家、と、洪、益、不、可、言、也、
 右、位、以、前、之、と、異、な、る、以上、君子、が、考、慮、者、之、
 否、偏、に、希、望、を、持、つ、以、段、中、乃、至、此、也、

(Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page)

大坂行船書

信水

大坂行船書 信水 大坂行船書 信水 大坂行船書 信水 大坂行船書 信水

(大坂行船書)

(大坂行船書)

別紙先十日出帆便、... 船都名彼是、... 扱、不都合、... 江戸尋路、... 毎、申、... 佐、... 日、...

大信託(四)度
 1854
 1855
 1856
 1857
 1858
 1859
 1860
 1861
 1862
 1863
 1864
 1865
 1866
 1867
 1868
 1869
 1870

猶以是因年... 故別我中島... 利通

大信託

信行

Yam Sui 敬

Yam Sui 敬

此 函

Handwritten cursive text in a vertical column, likely a letter or document, written in a traditional Chinese style.

大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

商務印書館

一書おる情 然 亦 由 新 田 一 条 帰 港 後
ヲ 一 一 社 中 へ 面 會 して 下 命 二 條 七 米 志
恒 談 別 々 系 同 社 之 千 万 田 二 百 通 鑑 一 家
中 出 乃 附 石 不 最 子 條 言 七 米 志 乃 事 卜 守
初 台 政 府 へ 於 而 七 連 之 於 一 条 之 條 着 是 附
以 探 可 乃 之 卜 事 初 巨 細 八 條 跡 三 可
中 乃 得 其 亦 一 乃 命 一 條 之 條 着 是 附
之 日 報 亦 乃 亦 也 七 米 志 一 條 着 是 附

十月二十日

信行

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a postscript or a note. The characters are in a cursive style (sōsho).

内務卿 啟

大隈重信 啟

大正 得利 通

差上 四重

(本文ト同封)

Multiple vertical columns of faint, handwritten Japanese text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

此二冊は...

今般政府所定兌換條付券發行に及るに院
は本條元老院に事あり者之是に必は古條に
有之旨五代右一節は日所より得たる何分疑
心能はる一節は元老院及負其極少と意
人故所より得たるは遺言に告此兌換
是理もやりの可なり候政府は師任事
れもこの有るは得たるは一時は
人氣は下之條を待の人のと
有るに銀貨二三千圓を十
教しは

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically in Japanese characters.

貨余りの中強氣も人の定て困却る事ト
福家

是先月申々銀指さすものハ其突ハ金
銀引ハ亦元々ハ林村等ト本談テ四十万
程也夫ハ少くも是ハ因ハ大元江の免因
の事ハハ知テ是ハ漸ク空者有る事ナリ
ト皆ハ金銀引ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ
金高考少くも連レハ亦ハ事ハ事ハ事ハ事ハ
テ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ
事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ事ハ

1871
 1872
 1873
 1874
 1875
 1876
 1877
 1878
 1879
 1880

そのニ在りて一ノハ是カ大元以表ニテ買入
 是命命ノルカ一ノハ是カ大元以表ニテ買入
 八内ニ在ルニ説ヲ見ルニ表向ニ安ヌレハ
 少ツクニテ買入可ク申 存意トシテ買入
 以テ買入案ニテ存意トシテ買入

本居孝允書

(大隈重信侯爵藏書)

Reading the text on the right page, which is written in a cursive style on lined paper.

(大隈重信侯爵藏書)

先心所傳(方)を以て其の旨を尋ねて
 十二字(通)を以て其の旨を尋ねて
 本居孝允書
 十^{イキ}月^{イキ}通^{イキ}
 十^{イキ}月^{イキ}通^{イキ}

(大隈重信侯傳編纂會)

(大隈重信侯傳編纂會)

先心法法(高)寺也了馬古法等者也。日
 十二字(高)まほ待り上。性法法椰子不
 在ふり。白散歩の等集上中。又法出法
 二る下強念引取中。先心法法。善教
 明法中。之高法道。一。之。下。法。教。行。且。又
 今。の。之。行。形。之。而。大。法。統。者。之。高。也。前。途。一
 照。念。不。少。法。高。法。中。に。不。法。中。の。形。と。身。願
 法。子。の。如。意。高。法。中。の。得。に。忽。及。意。之。る。途
 法。中。法。果。法。不。而。心。一。且。又。高。に。入。法。中。一。至

(大隈重信侯傳)

其一

(大隈重信侯傳)

先心法法(高)寺也了馬古法等者也。日
 十二字(高)まほ待り上。性法法椰子不
 在ふり。白散歩の等集上中。又法出法
 二る下強念引取中。先心法法。善教
 明法中。之高法道。一。之。下。法。教。行。且。又
 今。の。之。行。形。之。而。大。法。統。者。之。高。也。前。途。一
 照。念。不。少。法。高。法。中。に。不。法。中。の。形。と。身。願
 法。子。の。如。意。高。法。中。の。得。に。忽。及。意。之。る。途
 法。中。法。果。法。不。而。心。一。且。又。高。に。入。法。中。一。至

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note, written in a vertical column.

(大隈重信侯傳編纂會)

尚ほとありては、宛宛に儀有之、余不能是、
期後、のりあり、先、為其子、のり、

八月五日

大昔、借、祿、身、怒

西田家

Handwritten text in a cursive style, continuing the letter or note, written in a vertical column.

(大隈重信侯傳編纂會)

大抵論評 史的

明治維新の歴史 藤田鳴鶴著

(大隈重信侯爵書)

乱事言怒は推免位は必用投火是也

先以氷注適とて、先以氷注適とて、さうて左は、さうて左は、正任字を、正任字を、

昨の升上を、昨の升上を、たつとて、たつとて、至西、至西、

連て氷解、連て氷解、はなす、はなす、乃て、乃て、却て、却て、舟を、舟を、

同人、同人、北に、北に、別、別、二、二、果、果、論、論、無、無、は、は、座、座、

舎、舎、二、二、託、託、交、交、徹、徹、底、底、ハ、ハ、了、了、

ハ、ハ、不、不、得、得、と、と、前、前、途、途、と、と、却、却、て、て、論、論、

ハ、ハ、不、不、得、得、と、と、前、前、途、途、と、と、却、却、て、て、論、論、

一、一、百、百、、、不、不、得、得、と、と、前、前、途、途、と、と、却、却、て、て、論、論、

(大隈重信侯爵書)

1602 1612 1622 1632 1642 1652 1662 1672 1682 1692 1702 1712 1722 1732 1742 1752 1762 1772 1782 1792 1802 1812 1822 1832 1842 1852 1862 1872 1882 1892 1902 1912 1922 1932 1942 1952 1962 1972 1982 1992 2002

大隈重信侯傳編纂會

はる族の多きをいふは其の得た凡使節の帰
船までもと多敷と云ふは其の天界もたきと云ふ
たうはたし初に其訳は第一層に滿立果ては天
りたる事なりと云ふを目的に内務もたきと云ふ
ことありと自らいふ天の事多敷と云ふは必ず
雑多きと云ふなりと云ふは又板垣し如く
書物通に今の日し人極し不願文明と云ふは不
幸勢運轉し極しと云ふは又富岳
は其越さるる口と云ふは
しと越さるる口と云ふは其
を費さるるを不得依る

大隈重信侯傳編纂會

板垣の如く書物通よりいふ事
人極しと云ふ

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically on the right page of the open book.

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or document. The text is written vertically on the left page of the open book.

Handwritten text on a separate piece of paper, possibly a note or a signature, placed over the left page.

No.

Handwritten text in a vertical column, likely a transcription of a document or a list of items. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but appear to be a mix of kanji and possibly some Latin characters or symbols.

(大隈重信侯爵御遺書)

Handwritten text in a vertical column, appearing to be a transcription of a document. The characters are more legible than those on the opposite page. The text discusses various matters, possibly related to the title of the adjacent page.

(大隈重信侯爵御遺書)

Handwritten text in a vertical column, likely a transcription of a document or a letter. The characters are dense and written in a cursive style.

一節 元便

Main body of handwritten text on the left page, continuing the vertical transcription. The text is contained within a rectangular border.

Handwritten text in a vertical column, likely a transcription of a document or a letter. The characters are small and densely packed, typical of traditional Japanese calligraphy.

進了、是は一糸、主急、諸彦、之程、克以、致意、
与、
一、田、下、系、具、收、束、功、也、
中、
二十日、
常、
し、
第、
際、

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the cursive style.

(大隈重信侯傳編纂會)

見し頃右左ニ分枝垣も市市一可移運了枝垣は
以其市し安と忽とて聲ありとも難辨申す
且又南^何東^事り又文教收束し左西枝一有米丈
今分別を去させ然る後決局を以て^疑一移運
御座旅する其の能知もや猶も其の中一は
只先者も其の方より身も其の中一は外
ハ筆^筆も難書り候し候
大隈重信
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

大灣... (Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side)

仕者必竟... (Main handwritten text on the left page)



Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The text is written vertically in Japanese characters, starting from the top right and moving downwards. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but appear to be a continuous piece of writing.

(大隈重信侯爵遺書)

と云開化と云其末多う二雷同流す二隔り
然し右開化家ノ弊尤二惡と云新ノ如クと云
ハ其家ニ其れを以テ人ノ切取を以テ終ニ其
玉ニ及ぬりノ大也仍而雷同流す二の二亦
等ク以テあり去年一月西川先生ニ其
論書ニ通付給ふ事ニ進歩行方不存在存立
法ニ確定せしむ所要と云何れを其格ニ更
修すニ別島長尾ノ無量院也為也或ニ二人或
三人迎志人歩ヲハ永久ニ其ノ行方海ノ下
終ニ其何ノ且其界古ノ英雄ノ何世を故

(大隈重信侯爵遺書)

此書乃神皇正統記之真本也其卷之四
及卷之五其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記
等之詞句其間有日本書紀及古事記

其鬼神之辭之果函其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

其一年及指の

Handwritten text in a vertical column, likely a translation or commentary. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style and some bleed-through from the reverse side.

計りし如く至近如き子國せすいと
則カドレーキ一様ニテ
日本ニキリ以テ不才 盡く
國外へ放逐し給ふ事教し子校へかゝるは此水と其示
於歐洲此等
尤難 是に比スル一己にテ簡ニテ其力先
等し孰端まゝおしあると云是は其法傳入
定まらぬ如き事片時得し得し以テ証儀と仰付
人上ありては如何なる事ナボレテコードと如何に於
其條件ハ尙付尤議端亦少必是取彼と云不
適我ハ終ニ其思案亦年々各至是是等と云
此例も不才も以テ其意は如何に
一士福消滅有る為債は多かり云々其由亦補添

1. 諸君...
 2. ...
 3. ...
 4. ...
 5. ...
 6. ...
 7. ...
 8. ...
 9. ...
 10. ...

(大隈重信侯爵傳)

米多即...
 朝議...
 昌...
 此已...
 此一言...
 其...
 其...
 其...
 其...
 其...
 其...

(大隈重信侯爵傳)

且

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a report. The text is written vertically in Japanese characters, starting from the right side of the page and moving towards the left. The characters are somewhat faded and difficult to read precisely, but they appear to be a continuous block of text.

(大隈重信侯傳編纂會)

令知亦其向因
朝廷しは厄害とらむ俄肝あるに
上と雖考るくはめなる可き
自今更長高工と之小移り
内敷百し城下一旦と廢
一二つを家と中し
元より其利を得其口を
ゆ函におありは
ゆの護ふ外困倒ハ

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, possibly a letter or a record, written in a vertical column from right to left. The characters are dense and difficult to decipher due to the cursive script.

(大隈重信侯傳編纂會)

必不少饑餓守節死而不屈也人生一若此則
况々の教を未偏くもそそりて一般に難責を當
以時ハ士族と雖も一擲ハ民ノ觀を以て、福移を至
了きと云ハ真
朝廷ハ其厄に罹る其責あるまじき故に
うが士十策あり其方ハ不能なるが、會得し先鞭
等を以て想像して、一困難ニ到中百
或と云ふ人曰及説ハ如邦子術未全開人々亦
自ら経験なく答ふと云ハ異と云、其任と不任との
別ハ僥倖と不幸といふなり、路と云ふは、

(大隈重信侯傳編纂會)

一私情を断言して高麗を悦びしは、
 國長初先年五年少體困皇天下、
 一古の掃西云々、
 朝廷と朝、
 一盛河と連通、
 氏天下と民と權を同一、
 朝恩と高天、
 朝操一定王侯有司、
 先世共同、

(大隈重信傳編纂會)

一私情を断言して高麗を悦びしは、
 國長初先年五年少體困皇天下、
 一古の掃西云々、
 朝廷と朝、
 一盛河と連通、
 氏天下と民と權を同一、
 朝恩と高天、
 朝操一定王侯有司、
 先世共同、

(大隈重信傳編纂會)

乱りては思はれ難く
 沈埋しつゝ遺骸如山
 別々相離るるに
 天地の運遠に
 其意を黙然
 其計を公に
 其失し残念千載に

(大隈重信 墓會)

(大隈重信 墓會)
 乱りては思はれ難く
 沈埋しつゝ遺骸如山
 別々相離るるに
 天地の運遠に
 其意を黙然
 其計を公に
 其失し残念千載に

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of a document or a collection of letters.

此多し一向不面白而詮又六若易ニ如惣大破とやう
ニシ雜玉依る只一誠意を以て腹に藏し流
涕吐露西にへし古談は、此三六ノ為事 終に人々を
二カ、探とある、此三六ノ為事 先生と大久保佐
々木を主とす。三君とる人々、此三六ノ為事 御
交儀を以て却居と決断せしむるに同業と
する以上百遺を為す同業とる所、此三六ノ為事 頼
大臣公始は臣

朝叔の曲大長云、の事とて在初、此三六ノ為事 以て事運あり
と上、此三六ノ為事 天下一は盡力を作、先、此三六ノ為事 以て安んず不取敢

大隈重信侯傳風
其五
亂事之起於建元投火之難
十字字以思乃未云有違お之侍引張以是
誠不其けりしは律ささく八爰元光景北和得
をさるゝ通おにありきゝるしなき之通日米氏部
大乾一致しきし程隠然身を在るし一得し
少あり降る多し漸西にありあり負惜に八相
也了得どわ大隈氏に西局あり兼さるる侍に
片日作然元來着眼せしとありはなき一得し
弟るゝ実し不平し侍に不女全侍初祭

(大隈重信侯傳風)

其五

大隈重信侯傳風
其五

大隈を急議の議論の事を古儀の
 身之始終の程腹中の所感を述べて居る
 上を居る一編の事である。古儀の所記に
 是の如き事を書き留め置くと其の
 實に如何なる程に古儀の事を知
 り得たか。此の古儀の事を知
 るは古儀の事を知ることである。古儀
 の事を知ることである。古儀の事を知
 ることである。古儀の事を知ること
 である。古儀の事を知ることである。

大隈を急議の議論の事を古儀の
 身之始終の程腹中の所感を述べて居る
 上を居る一編の事である。古儀の所記に
 是の如き事を書き留め置くと其の
 實に如何なる程に古儀の事を知
 り得たか。此の古儀の事を知
 るは古儀の事を知ることである。古儀
 の事を知ることである。古儀の事を知
 ることである。古儀の事を知ること
 である。古儀の事を知ることである。

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The characters are densely packed and flow across the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

公作目的ハ其ニ中同然クヨク己ノ私ヲ抛ケ
内外探トシテ微塵モハ一毛トモ事ニ公トシテ必
竟水泡ニ属シ随テ不面ニ何申ノ泡象ト
然レハ今日ハ神宗其ハ九ノ流ニ是レト出テ之
上ニ撰採ニ而脱乳ヲ去リテ何テ事金川其
邊ニ而相立テ其大隈氏ヲ然レト具事ヲ
振ルニ多クナリ形柄好クニ有テ是レ見テ出テ浮
クニ得ルハ尚ほ其ノ論トモ言ハレト只レト希
望シテ一中心ヲ申其意トモ言ハレト其レト
了口云一五ノ事ハ先ハ為其ノ事ナリ候事如復

(大隈重信侯傳編纂會)

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

(大隈重信侯傳編纂會)

日誌

七月廿五日 秋

尚一纏之力。中々維持ハ不思意。亦不
 通。一偏論而已。其友固の、其の終、如河是
 難致。如法。函告。二所。三有。下。時。一。七。二。此の
 上。難。設。進。可。不。友。不。自。合。一。朝。延。実
 二。前。途。之。目的。更。之。難。其。是。自。合。之。所以。之
 破。推。大。根。軸。を。立。て。中。而。之。隨。而。百。子。瓦
 解。中。也。也。是。之。今。の。形。勢。に。在。る。に。は。大。に。子
 如。歸。其。一。策。能。と。中。初。子。難。之。難
 是。之。也。

1. 日本
 2. 中国
 3. 印度
 4. 南洋
 5. 北洋
 6. 蒙古
 7. 西藏
 8. 满洲
 9. 朝鲜
 10. 日本

芳梅聖尼

九

内家抄

1. 日本
 2. 中国
 3. 印度
 4. 南洋
 5. 北洋
 6. 蒙古
 7. 西藏
 8. 满洲
 9. 朝鲜
 10. 日本

乱事言也

お忍林冷し之即、は空際を先はは居業、引
續きは尋ね大受は、う、を、作、さて先は供
可上却居る横儀を、~~成~~先、出浮お極い
藤俊介、は、申言はる、は、申言、は、出却居る
は、子接、は、道、果、は、は、六、ツ、ケ、を、る、は、先、は、
は、越、は、待、り、は、上、弟、と、り、説、は、は、は、は、
は、通、約、り、思、入、は、極、は、一、日、半、は、ど、滞、港、は、
西直探山中、趣、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、
俊介、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

大

Blank page with vertical lines for writing.

Handwritten text in a cursive script, likely representing a phonetic transcription of Chinese characters. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines within a rectangular frame.

(大隈重信傳編纂會)

(大隈重信傳編纂會)

有是驕傲、多不有之加、亦又對河、古
方、以矢所致、而為通文、貿易、其尤衰微
一日、在、一日、より、古、通、り、冬、余、儀、旗、の、幕、に、有、連
之、目的、は、是、を、故、の、付、来、る、標、に、以、て、行、は、る、交
今、般、は、一、新、に、到、り、た、に、故、の、功、を、論、じ、る、道、途、絶、へ
且、昨、年、は、一、新、に、行、解、解、(市、達、に、有、年、中、已
来、何、れ、狐、疑、を、生、ず、以、貿易、に、以、て、牙、を、断、絶、し、
至、り、而、依、る、得、る、處、に、あ、る、に、今日、案、家、に、
二、有、し、是、を、知、る、者、の、に、職、を、作、付、し、其、一、を、酒
之、目的、は、主、且、又、人民、を、安、し、り、日、般、古、着、き

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The characters are densely packed and flow across the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

此得、知、り、の、あ、る、奉、對

Handwritten text in a cursive style, continuing the narrative or letter. The characters are densely packed and flow across the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

wore the robe of a minister in the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the
the first day of the year of the

星尚以交如上都念之似預有候了年又第にお
少了より更に年級無之に去心多し尤も儼々
少了同 老其室へ得とす系談法^而受^た
指揮し 標を待て^し中へ向ふ^た事ありしに^て即ち^て
己^れの^も^も交^はる^る間^の可^き事^も少^く、^単而^も私^法
内^の話^をし^て通^年内^に修^理を^推し^て是^れが^本
解^の、^其同^き交^はる^る必^し竟^に、^大に^我方^向を^不言^し牛
ニ^おき^て儲^子系^統機^宜を^料理^し、^其れ^もし^都而^も
以^同ニ^可信^しと^思ふ^事、^其れ^一点^難志^とす^れ
何^年時^の事^も、^し、^其れ^を教^諭し^て、^其れ^を偏^に、^其れ^を

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The characters are dense and flow across the page.

(大隈重信侯傳編纂會)

同日

力有餘少、為余、あると中端、其平時、
此自玉為、知家身、一、生、子、に、至、初、
新、務、身、出、交、り、存、り、先、子、あ、り、初、九、折、
八月念五
尚、了、事、束、い、如、何、い、と、事、候、い、は、能、い、哉、山、中、
相、要、務、あ、り、い、れ、い、共、雨、苗、月、日、光、と、見、い、子、
不、昌、あ、之、刻、い、敬、自、
大隈重信
何、い、と、事、候、い、は、能、い、哉、山、中、
存、允、お

(大隈重信侯傳編纂會)

Vertical lines of handwritten text, likely a transcription of a letter or document. The text is written in a cursive style on a page with horizontal ruling lines.

(大隈重信侯傳)

(大隈重信侯傳)

Vertical lines of handwritten text, likely a transcription of a letter or document. The text is written in a cursive style on a page with horizontal ruling lines.

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a document. The text is written in a single column and is mostly illegible due to the cursive script.

(大隈重信侯爵書)

大久保十少相請一交一換探出東洋已
ニ先生之見ハ所為兵ニ出論セラル
至亦根柢ニ至差急ニ誤ニ細ニ御上
ハ十之一ニ難キ也 得ルニ是為第一
也、予ノ存存東上ニ至、可也、得ルニ以彼一徳
ト其美、下去也、中其美、下也、何事ニ
新、その、好、相

四月十三日

竹富長老宛

先

(大隈重信侯爵書)

物次所乃

14

電上物次

電。Memo to you

to you - you will find it in the file on the 8th floor -

the new photo of me in the car is also in the

file in the same folder as the other photos -

the other photos are in the file on the 8th floor -

the other photos are in the file on the 8th floor -

the other photos are in the file on the 8th floor -

は内折

札等内折宛より近頃板垣接藤と仰

国書由侯系尋近況迄書は長程おとし物

尚書も所存下り由尋らり候事、折

折原杉角是よりうら高親より折原の所々

は是末より折原、客末根是を折原大敵の

中より折原教より折原、必是折原迄より折原

より折原より折原、折原折原政府より折原

より折原より折原、折原折原

自國惟折原より折原、折原折原

亂乎以雅覽之其近口板垣後孫也歸
 國情由後孫等近况函書以長於和とし孫
 尚^此序と云て了つて由尋との被奉り申
 拜願形角是より可^レ親と申物なり昨^レ能^レ
 可^レ是来り其の漸々家業は是^レ如^レに失致而也
 也其^レ由^レ其^レ故^レより可^レ必^レ竟^レ其^レ途^レより可^レ以^レ復^レ也
 之^レ層^レ序^レの^レ有^レ之^レ増^レ在^レ於^レ政府^レの^レ可^レ申^レ大^レ方
 界^レ必^レ其^レ定^レ之^レ所^レ申^レ可^レ也
 自^レ其^レ國^レ維持^レ目的^レ其^レ為^レ其^レ末^レ其^レ根^レ軸^レ不^レ可^レ立

(大隈重信侯傳)

朝妻若者移是人之方向を乱り孫儀指之
 之而終之瓦解之憂も外をせしめ慨之而し指
 之其の徳を今のと申をあるも其論者謂者
 古界と成不可復之形勢も其の事能付也
 二脈之軌正をせしめ他内地大戦争之実力
 をたしめ之能又支根軸一定を其を計り其
 自の能を能はるるもの甚六ツテ其能自何
 其年先生は其の事をも其の能を其の能
 其の能を其の能を其の能を其の能を其の能
 其の能を其の能を其の能を其の能を其の能

朝妻若者移是人之方向を乱り孫儀指之
 之而終之瓦解之憂も外をせしめ慨之而し指
 之其の徳を今のと申をあるも其論者謂者
 古界と成不可復之形勢も其の事能付也
 二脈之軌正をせしめ他内地大戦争之実力
 をたしめ之能又支根軸一定を其を計り其
 自の能を能はるるもの甚六ツテ其能自何
 其年先生は其の事をも其の能を其の能
 其の能を其の能を其の能を其の能を其の能
 其の能を其の能を其の能を其の能を其の能

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a record. The text is arranged in vertical columns from right to left. It appears to be a transcription of a document, possibly related to the '大隈重信侯傳編纂會' mentioned in the adjacent page.

(大隈重信侯傳編纂會)

活評定之成最前之行ぐりし者之余り遷
延此而し不却合しは度くは天徳是冬余
俄延引此書之即前時はありしと云ふは
四吾延引時へはありしは度くは疑世
因身二自様くは俄論本集くはしりしは度くは
同甚を忍刀は俾先は横濱まで出りけは探
子は待り申すは改不悪思合はりしは度くは先
物具方ありは度くは九折

七月廿九日

尚一尚一尚一尤は多事務し折柄は必先生

Handwritten mark or page number at the top of the page.

4-5 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

(大隈重信侯傳編纂會)

一 所^レの^レ運^レ回^レ了^レ功^レ能^レ一^レ概^レ由^レ之^レ所^レ傳^レ來^レ也
 來^レり^レの^レど^レも^レ必^レず^レと^レ中^レ切^レ無^レ得^レし^レ也
 此^レ由^レ同^レ人^レも^レ甚^レ強^レ念^レ有^レり^レ一^レ而^レ引^レ起^レす^レ中^レ
 可^レく^レ口^レを^レ封^レじ^レ於^レ第^レ一^レの^レ大^レ花^レに^レ候^レ也
 此^レ見^レる^レに^レ一^レの^レ運^レ回^レ了^レ功^レ能^レ一^レ概^レ由^レ之^レ所^レ傳^レ來^レ也
 念^レ之^レ初^レ、^レ付^レ多^レに^レ千^レ兩^レの^レ金^レを^レ取^レ回^レ人^レに^レ付^レて^レ也
 不^レ此^レ同^レ別^レ符^レ給^レ便^レへ^レ中^レ付^レる^レ主^レ記^レと^レ也
 是^レ由^レ之^レ一^レの^レ運^レ回^レ了^レ功^レ能^レ一^レ概^レ由^レ之^レ所^レ傳^レ來^レ也
 一 日 十 四

100

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會
大隈重信侯傳編纂會

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a cursive style, likely a transcription of a document. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are somewhat faded and difficult to decipher precisely, but appear to be a formal or official record.

(大隈重信侯傳編纂會)

二竹馬志中上之江蘇多儀(上)之西交
愚端陳述其(上)向曾微(上)致然(上)中
二桂我(上)多(上)也(上)陪(上)多(上)裁(上)判(上)不(上)拘(上)留(上)と(上)以(上)
あ(上)あ(上)ら(上)ず(上)一(上)孝(上)先(上)と(上)今(上)口(上)尚(上)河(上)
朝(上)官(上)其(上)と(上)白(上)る(上)も(上)
朝(上)廷(上)と(上)は(上)不(上)祥(上)裁(上)と(上)不(上)忠(上)傍(上)觀(上)且(上)桂(上)村(上)二(上)同
國(上)と(上)り(上)の(上)也(上)友(上)人(上)也(上)以(上)理(上)抑(上)制(上)せ(上)る(上)を(上)見
了(上)ら(上)ぬ(上)點(上)止(上)れ(上)日(上)の(上)帝(上)一(上)寫(上)と(上)南(上)上(上)書(上)付(上)れ
餘(上)意(上)五(上)條(上)に(上)述(上)而(上)副(上)原(上)と(上)一(上)諸(上)多(上)裁(上)と(上)案
二(上)三(上)章(上)一(上)が(上)併(上)り(上)は(上)熟(上)覺(上)と(上)上(上)平(上)と(上)は(上)詮(上)議

(大隈重信侯傳編纂會)

Handwritten text in a grid format, possibly representing a list or a series of entries in a ledger.

(大隈重信侯傳編纂會)

明治十年

有之五系... 十月二十日... 大隈 秋

おとりの全群...

Handwritten text in a grid format, likely a transcription of a letter or document. The text is written in a cursive style and is mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side.

(大隈重信侯爵書)

(大隈重信侯傳編)

其十一

先以有佳雅... 今ハ所由云々... 薩州ニ有ル是派黨... 六ツケカ... 久保ハ得ト... 卯ト云々... 御板櫃... 二与... におし...

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a record. The text is written vertically on a page with horizontal lines. The characters are dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the specific dialect or script used.

(大隈重信侯傳編纂會)

大隈重信

二〇九 院とて所存を傍左院とて人教は後
しむる所ありは詮議を祈り何れもこれ左院
とてふべき事ありしやうある事今口之由ありて
二不白の先は為其の事は好まざる
十月十日
あるより身は詮議ししやうありしとて
何れもこれ何れも元會博松山寺
小供隠居の跡海之外、執方古の所
より、いさむる所ありしやうありて慶安喜徳名自
二身は修業ありしやうありて、
二身は修業ありしやうありて、

(大隈重信侯傳編纂會)

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

(大隈重信侯傳編纂會)

一段之修終とて何日又始る所可し井上
 某越中より高田に出たて工部若出仕し
 一席老人し備位也とて名ありしは諸侯
 ありありとて名ありしとて何れも老乞
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯
 高田より出るといふ所ありしは諸侯

一巻下

大隈老乞

高田

先

...
 ...
 ...
 ...

Faint, illegible handwriting on the right page, possibly bleed-through from the reverse side.

乱学之害也

春暖之日... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也... 乱学之害也...

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The text is written vertically in Japanese characters.

(大隈重信侯爵御書)

(大隈重信侯爵御書)

大隈重信侯爵御書
Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The text is written vertically in Japanese characters.

明治三年

大隈重信

侯爵御書

福...
は内折

五五九

大坂 御用

御用

1544

Handwritten cursive text in a rectangular frame, likely a letter or document.

(大坂御用御用)

(大坂御用御用)

其十三

お忍び先心

Main body of handwritten cursive text in a rectangular frame, continuing the letter or document.

Handwritten text in Latin script, likely a historical document or correspondence.

向七稍おき、新くはあつて、日田に于一
換を起り、趣巨魁に定む。浪脱車、自
と、し、る、ま、は、是、等、一、編、節、と、し、て、と、し、と、考
か、か、付、る、に、何、を、是、を、幸、に、徹、底、は、亦、ま、ま、と
之、而、に、汝、終、思、心、氏、を、迷、り、一、旦、旅、諸、之、備、し
自然
朝廷を蒙り、松平重直
は、威、令、七、難、有、之、儀、付、升、上、山、島、守、と
七、古、謀、浪、軍、一、と、兵、を、出、一、出、心、引、出、重、直
と、年、初、一、左、之、に、自然、連、累、一、之、備、等、も、初、之、

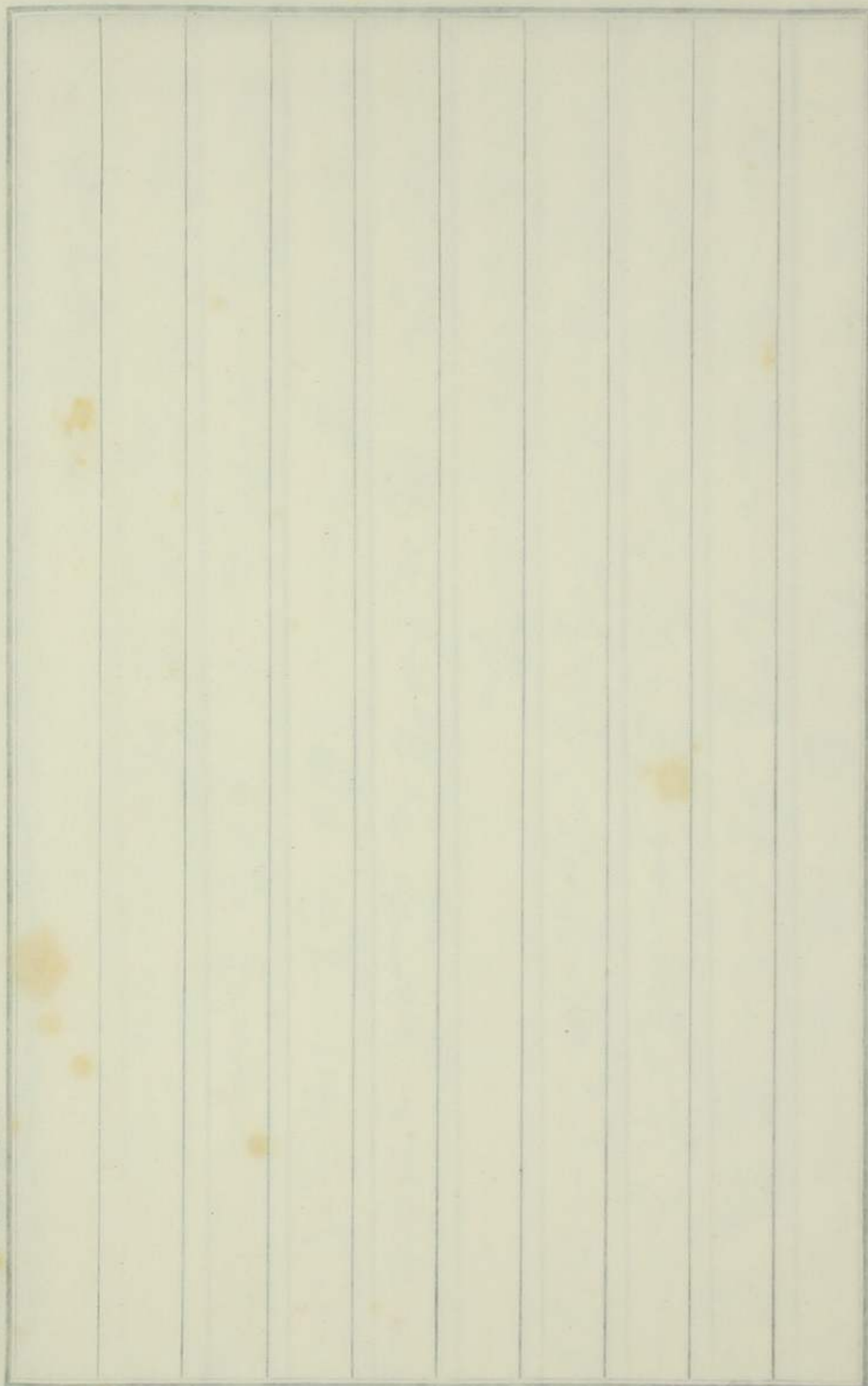
大隈重信侯傳編
其十四

(大隈重信侯傳編)

三府兵用使取歸之海依之企
目幕部之主意之く久西平腕走人彼高
快之く宗白三戸へい曲や曲へ一呈回人さ
可上く分い曲は分たは評決之上あり
西着手有之ふを御
○至永年此と東京へ屯兵等上り一り藏
内し見海一を八州より芳兵いし
少等し儀得と兵部若中も相辯稍見
心七古立平等介當い細儀帰京おま

巧上 he/ml lwhb-e tg: 舊一假 新 wt/Bruhl
 Ewhu- 假 qim 物物 姑子 以 舊物 能可
 舊一 的 舊— 吃 越 是 we 物來 以—
 o wq/whu— xun/whu (巧物 物 以— 巧/物
 物 物 物 巧/whu 物
 1eom/so 物 物 物 物 物 物 物
 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物
 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物
 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物
 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物 物

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>いんがら</p> | | | | | | | | | | | |
|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|



(大開家譜簿式圖表)

